

# 「持続可能な開発を促進する教育・学習」 コーディネーター研修事業

活動地域  日本全域

ひろげる助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発

オンライン学びあいの実施 **4回**

運営委員及び  
タスク会議 **33回**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **75%**



地域・学びあい・入門セミナー

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

限られた時間の中で、価値観や経験、物事の進め方などが違う人たちが、合意形成しながら丁寧な話し合いを通して物事を進めることの難しさがあった。

### ■ 工夫した点

各地域での持続可能な地域づくりのための「学びあい」の実践のプロセスや変化などをブログにすることで、振り返り、自分たちの言葉で発信できるようにしている。

## 課題

持続可能な開発を進めるすべての取組みにおいて、教育・学習の役割が強化される必要がある一方で、それを実践レベルで担う人材育成の取組みは、国内ではまだ十分とは言えない。

## 目標

地域づくりに関わる実践者が、持続可能な開発を後押しする教育や学習活動をコーディネートする際のヒントを得て、それを活用した教育活動を展開していくこと。

## 活動内容と成果

- オンラインでの研修コーディネーターチームによるフォローアップの実施、実践者同士の交流及び活動報告や共有の場の開催(計4回)、ブログでの持続可能な地域づくりのための「学びあい」実践事例の発信(5件)をした
- 地域の実情に応じたコーディネーションの実践が共有されることで、参加者が自らの地域の実践を捉えなおし、持続可能な地域づくりを促進する学びのコーディネートのヒントを得ることに繋がっている



第1回オンライン学びあい

## 全助成期間の活動を振り返って

- 2019年度の研修を通じて、各地域でのコーディネートを進めるきっかけとなり、本年度は計画通り、フォローアップや研修などの活動を実施できていれば、より具体的にコーディネートの展開が見られたと考えている
- 各地で様々な活動をしている人たちと、地域から離れて学びあい、刺激し合う機会は自分たちでは作れない。思い込みや無意識の言語化ができる貴重な空間を作ったこと自体が、大きな成果だと考えている



2020年度事業報告書の表紙

〒112-0002  
東京都文京区小石川12-17-41-3F  
電話：03-5844-3630  
E-mail：main@dear.or.jp  
HP：http://www.dear.or.jp



## 今後の展望

- 研修で使用する教材や研修プログラムは、ハンドブックや報告書にまとめられており、今後も活用していくが、そのプロセスの中で同時に見直しを図っていく (SDGsをめぐる社会状況が変化の中で、持続可能な開発をめぐる理解についてもその発行当時とは変化してきていると考えられる)
- 研修参加者らが地域内での事業展開に活用できるように、今後も継続的なフォローアップやサポートをしていく